

全国生徒生活体験発表大会

11月20日（日）に東京都港区六本木のハリウッドプラザで、全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が行われました。全国の都道府県代表やブロック代表の生徒、計60名が集まり、自身の体験やそこから学んだことを発表しました。本校定時制4年の水口慈さんは岐阜県の代表として本大会に参加しました。学校生活やアルバイト、進路に関する活動などで忙しい中、担任の遠藤先生と打合せや練習を重ね、本番の発表に臨みました。

大会は、午前中に4会場に分かれてのグループ発表が行われ、各グループから代表2名が選ばれます。そこで選ばれた計8名の生徒が午後からの全体会で発表を行うという流れでした。水口さんは岐阜県代表、飛驒高山高校定時制代表として堂々とした発表を披露してくれましたが、惜しくもグループ代表には選ばれず、奨励賞という結果になりました。

しかし、今回の経験は、水口さんにとって、そして飛驒高山高校定時制にとって、とても貴重な機会となりました。本大会をこれからの生活に活かしていってほしいと思います。

